



新年あけまして おめでとうございます

豊田市議会議員 岡田 耕一

地域の皆様、岡田耕一友の会の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

私は、現職議員として初めての新年を迎えておりますが、今年は、21世紀初頭の年ということで今まで以上に市民の皆様、地域の皆さんにとって住み良い豊田市づくりを考え、ご期待にこたえる議員活動をすべく決意を新たにしております。

また、昨年のごころは、皆様に支えられ選挙準備の真っ最中でありましたが、私にとって4度目となる豊田市議会12月定例会も12月8日から20日までの会期で開催され、58議案が可決、閉会されました。今回の議会では、市役所内の組織改革、各種公共料金・手数料条例の改定、名誉市民の推挙等、大変重要な案件が審議されました。また、一般質問でも東海豪雨災害の関係、

豊田そごう閉店に伴う市の対応や豊田スタジアム問題等、緊急性の高い問題に集中したのも特徴的でした。

平成12年の豊田市は、三河線の廃線問題、(株)枝下の高濃度ダイオキシン排出問題、東海豪雨災害、そして、豊田そごう閉店問題と立て続けに大きな問題に直面し、これほど行政、議会の真価が問われた1年もなかったでしょう。これらの問題はもちろん、まだまだ多くの課題も山積しております。私も市民の皆様のご期待にこたえられるようしっかり勉強し、活動してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻、よろしくお願いいたします。最後になりましたが、皆様におかれましては新しく迎えられました新年、新世紀もご多幸でありますことご祈念申し上げます。

また、年賀のご挨拶につきましては、公職選挙法第一四七条二項(公職の候補者、公職にある者は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状、これらに類するあいさつ状を出してはならない)に基づきまして、差し控させていただきます事、ご了承下さい。

岡田耕一友の会会員の皆様へ

友の会事務局では岡田耕一君が市議会議員に当選された事を機に更なる後援活動の充実を図るべく検討してまいりましたが、1つの方向性が示されましたのご報告いたします。

①「岡田耕一友の会」を「岡田耕一後援会」と名称変更する

- 県の選挙管理委員会には「岡田耕一後援会」を登録
- 会員名簿、政治資金、預金通帳等も岡田耕一後援会に移行する
- 友の会会報の発行主体も後援会とする(岡田耕一後援会会報とする)
- 役員等、組織を再編成する

②任意団体として「岡田耕一友の会」を設立する

- 会員名簿は作らない
- 政治資金は取り扱わない
- 勝手連的に岡田耕一を支援する etc

これらのことをご承認いただくため、3月末をめどに「岡田耕一後援会」設立総会を実施する予定です。あくまでも素案ですのでご意見等ございましたら、再検討したいと思います。

岡田耕一友の会事務局

岡田耕一後援会移行準備会 世話人 一同

無料法律相談のご案内

日時 / 1月13日(土)

2月10日(土)

3月10日(土)

4月14日(土)

時間 / いずれも

午後1時30分～3時

場所 / 豊田産業文化センター
4階にて

問合せ / 豊田市議会議員

岡田耕一

TEL 88-9194

弁護士に無料で相談できます。予約制ではありませんので、しばらくお待ちいただくことがあります。ご了承下さい。

あわせて、行政相談も実施しておりますのでお気軽にお越し下さい。

豊田市議会 12月定例会 会期/12月8日～12月20日

58議案 5請願等について審議 (私は55議案に賛成 3議案に反対 5請願全てに賛成 2意見書に賛成)

◎ 財産の取得について

豊田市美術館収蔵用美術品(その1)(その2)に反対

東海豪雨災害の復旧工事、そごう閉店による雇用問題を抱える現在、多額の美術品を購入する時期ではない。

◎ 名誉市民の推挙について(加藤正一氏)に反対

市民に貢献するのが責務である政治家を表彰するべきではない。

豊田スタジアム建設を積極的に推進された前市長を多くの市民が推挙に賛成するとは思えない。

本会議では全58議案可決 2請願採択 2意見書可決

12月議会で可決された主な事業

● 豊田市手数料条例の一部を改正する条例

総件数576件中引上げ137件 引下げ27件 廃止3件

● 豊田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

家庭から出される粗大ごみを品目により300円、600円、900円の手数料を徴収し収集する。

● 財産の取得について(排水ポンプ車) 購入価格5,985万円

(排水ポンプ7.5m³/分×4台 クレーン装置1台 発電機1台)

● ウォーキングコース整備事業 補正額 437万4,000円

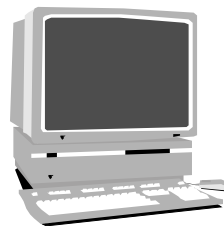
① 逢妻女川自転車道の貞宝橋～川端橋間 4.8km

② 柳川瀬公園外周および柳川瀬緑道間 3.0km

③ 枝下中用水緑道と竹村新池公園 2.0km

● 公民館情報通信システム推進費 歳出 4500万円 歳入(国の補助金3936万円)

今年度中に、地区公民館20館にIT講習(パソコン研修)用のパソコン(講師用を含め1館当たり12台。合計240台)を整備する。



●排水ポンプ車イメージイラスト

一般質問

1)「東海豪雨に学ぶ今後の豊田市の対応」について

具体的な反省事例と市民が安心して生活できる対応策について質問しました。

- ◎(岡田) 現在の豊田市において、どのくらいの雨量までなら床下浸水等の被害を防げるのか。今後どのくらいの雨量に対応できる街づくりを考えているのか。今後の堤防等の改修計画はどうなっているのか。
- ▲(稲吉土木部長) 総合的治水・治山対策を今まで以上に取り組む。対応できる雨量については、現地の状況・地形・雨の降り方等により、一概には数値に表せない。今後、2日間雨量320mm、時間あたり雨量49mmの対応ができる堤防の改修を進めていく。
- ◎(岡田) 今後豊田市においてどのくらいの雨量を想定し、雨水流出抑制施設を設置するのか。今後の設置計画は。
- ▲(稲吉土木部長) 矢作川水系では時間あたり雨量67mm対応できるようH13年度に元城小学校に雨水貯留浸透施設設置の実施設計に入る。境川水系では、境川流域整備計画により公園、市の施設等において雨水貯留浸透施設の設置を積極的に進める。H13年度には、浸水区域の対応策や雨水貯留浸透施設、雨水流出抑制策を含め、雨水排水の負荷軽減を図る治水対策計画を策定する。また、山之手小学校グラウンドを利用し、雨水貯留浸透施設の工事に入る。

- ◎(岡田) 今回の災害では、避難勧告が、住民に行き届かなかったという声が多数寄せられている。今後の住民への周知方法は、
- 市として避難勧告等の情報や現場からの速報(放映)をひまわりネットワークに求めることはできないのか。また、9月議会でも可決された、FMとよたに月々200万円もの制作料と1,000万円もの出資をする豊田市は、どのくらいの要望をひまわりネットワーク及びFMとよたに言えるのか。実際の災害時、市内全域でFM放送を聞くことができるのか。
- ▲(宇井総務部長) 災害時には、瞬時に多数の方に情報提供できるCATVやコミュニティFMが役立つと考える。災害時には、ひまわりネットワーク及びFMとよたの通常放送を中断して避難勧告はもちろん、被害情報、ライフライン状況、避難場所、災害支援等リアルタイムで放送できるよう現在協議を進めている。FMとよたの受信可能エリアは現状で96.2%、H14年度までには100%になるよう働きかけている。
- ◎(岡田) 銀行等からお金を借り、商売、事業を営み、今回のような水害等でお店や工場等が一時的に使えなくなった場合、返済金に対して市からの一時貸付や、銀行等に対して返済猶予のお願いをするなどできないか。
- ▲(宇井総務部長) 被災者に対する公的支援の範囲は基本的な日常生活手段の確保を図るための支援が原則であるから市による支援制度は考えていない。しかし、県の信用保証協会の特別措置としての復旧資金として商工業振興資金の別枠無担保保証による限度額5000万円以内の融資制度及び保証料率の引き下げ制度はある。また、県制度において借り入れ済みの資金についても6ヵ月の返済猶予を実施しているので活用してほしい。

2)短期的にではなく10年、20年先を見据えた市街地商店街のあるべき姿を考え豊田そごう閉店後の「豊田市駅周辺商店街について」市としての基本的な考え方を質問しました。

- ◎(岡田) 市が、長崎屋跡地を16億3,000万円で、アピタ跡地を12億3,000万円で買収したが、跡地を有効活用しきれてない。そごう持分のビル、土地の帳簿価格は約70億円。仮に行政がそごう持分を購入するなど、一度、商行為に関与すると永久に関与せざるを得なくなる。市民が望んでいる立地のいい福祉保健窓口の設置や分庁舎機能、建て替えが検討されている青少年センター、国際交流協会機能を一括してそごう跡に持つのならともかく、商業活動に関わる分野からは、行政は一切、手を引き、民間の活動に任せるべきであり、決して市民合意なくして市税を投入すべきではない。豊田市の考えは。
- ▲(鈴木商工部長) 年間売上200億円、500万人のお客様を集めていたことを見ると街の魅力を構成する要素になっていたと認識し、市全体の問題として集客力の高い商業機能を確保したいと考えている。
- ◎(岡田) 豊田そごう存続を前提にしている第6次総合計画及び豊田中心市街地活性化基本計画を見直すべきだと思うがどうか。
- ▲(鈴木商工部長) 都市間競争に遅れをとってはならない。第6次総合計画及び豊田中心市街地活性化基本計画を見直す考えはない。
- ◎(岡田) 市民の声としてトヨタ自動車や関連企業がショールームやオフィスとして進出して欲しいという声も相当ある。トヨタ自動車関連企業の進出をどのように考えるか。
- ▲(鈴木商工部長) 企業の経営に関することであるのでお答えする立場にない。



●新たな百貨店進出を待つ駅西再開発ビル。数十億円もの市税を投じてまでも市民は本当に百貨店を求めているのか!?

岡田耕一からの問題提起

- A: 豊田市駅周辺地域は、世界のトヨタの本社がある人口35万人の中核市としてふさわしい顔を整備する必要があるのか？
B: 分散都市、合併都市である豊田市にそもそも商業的な中心市街地が必要か？
C: 必要だとしたら豊田市駅周辺が、本当にふさわしいのか？
D: 中心市街地は、多額の税金を投入してでも整備する必要があるのか？
E: 商業施設誘致を行政が積極的にすべきかどうか？

など全市民的な議論をすべき時期にきているのではないのでしょうか。現在、そうした議論は一切されていません。

皆さん、どう思われますか？



●駅周辺再開発、第2弾のGAZAビル

ここが聞きたい！議員？豊田市政？

ここでは、一般的な議員、市議会、また豊田市政に関する質問をQ & Aという形でおかだ耕一市議が答えていきます。

◎ 渡刈清掃工場が新しくなるそうですが、どこに、いつごろ、どんなものが建設されようとしているのか教えてください。また、問題点等あれば教えてください。

▲ H18年度竣工で現在地に隣接する場所で建設される予定です。
規模は、1日あたり処理能力約400tの炉で、ガス化溶融炉方式を採用したいと言っています。
建設費は300億円前後と言われています。

ガス化溶融炉とは

この方式の炉の基本原理は、ごみを無酸素に近い状態で蒸し焼きにして、ガスと固形分（炭の状態）に分離した後、このガスと固形分を自らの持つエネルギーを利用して高温燃焼させて、残った灰を溶かすものです。

ガス化溶融炉の特徴

- ①ごみを高温(1,300~1,500℃)で溶融するためダイオキシンは、完全に分解される。
- ②溶融スラグ(溶けたごみを冷やしてできる鉱さい)が、建設資材等に再利用できるので焼却灰を埋める最終処分場の心配がない。
- ③可燃ごみだけでなく、有害ごみ、医療廃棄物、産業廃棄物も処理できると言われています。

豊田市のガス化溶融炉導入における問題点

- ①ダイオキシンは高温で分解されると言いますが、バグフィルターや触媒反応塔(窒素酸化物やダイオキシンを分解する物質が入っている装置)をつけなければならない施設もあり多額のコストがかかる。
- ②炉は、非常に高温になるため、耐火レンガ等の寿命が短い。
作業員もメーカーからの出向者を数名、常駐させる必要があり、ランニングコストが高い。
- ③できたスラグの再利用は、使い道がなく山積みになっている。
また、日本では、スラグに含まれる有害重金属の規制がゆるく、危険性が国際的にも知られている。
- ④何でも処理できるというのはごみの削減、分別の徹底という流れに逆行している。24時間連続稼働を前提としているこうした大型施設は、ごみの減量化が進むとごみが足りなくて困るという本末転倒な状況となる。
- ⑤各メーカーが行っている実証試験炉は、20t/日前後で、豊田市が導入しようとしている炉は、約400t/日であり、10倍以上の規模拡大にともなう安全性はまだ不透明。現にドイツでは、各地でガス漏れ事故が頻発している。
※豊橋市では、ドイツで事故を起こしたS社と技術提携しているメーカー製の炉の導入を決定したことから「新型焼却炉への公金支出差止め訴訟」が起きています。
- ⑥多くの自治体では、清掃工場建設の際には、議会が特別委員会を設置し、検討するなど市民の声を反映させようとしています。豊田市では、市民の声を政策反映させようという動きは今のところありません。(地元の住民説明会はやっていますが)



●現在の渡刈清掃工場

勉強会のご案内

講師に環境問題フリーライターの津川敬さんをお迎えして勉強会を実施します。
日時:2月11日(日) 13:30~17時頃 会場:豊田産業文化センター
内容:「ガス化溶融炉って何なんだ!」

皆さんのお力を岡田耕一友の会へ、お貸しください。

- ・会報編集(原稿作成、レイアウト編集、校正)
- ・ホームページ作成
- ・会報手配り(50~500部程度の各戸配布)
- ・会の運営(企画、立案)
- ・会報郵送準備(封筒へ宛名貼り付け、会報折り込み)

市政に関する様々な疑問、質問、要望等お気軽にご相談ください。

連絡先

TEL・FAX/88-9194
<http://www.hm.aitai.ne.jp/~ko-okada/>
E-mail: ko-okada@hm.aitai.ne.jp

100%古紙再生紙を使用しています。 